

第 145 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 27 年 1 月 16 日 (金) 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 福地 (電中研)

委 員 内田 (電通大)、大谷 (アンリツ)
作田 (日本大)、竹内 (横河電機)
福本 (佐賀大)

参 加 田辺 (電中研)

幹 事 作本 (日電検)、仲嶋 (三菱電機)

幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

資 料

145-1 平成 27 年度 計測技術委員会活動計画 (三次案)

145-2 平成 27 年度 計測研究会開催予定 (三次案)

145-3 平成 26 年度 計測技術委員会活動状況

145-3-1 計測研究会プログラム (12 月開催分)

145-3-2 計測研究会プログラム (2 月開催分)

145-3-3 光応用電磁界計測 (PEM) 時限研究専門委員会 第 3 回研究会開催案内

145-3-4 計測研究会プログラム (3 月開催分)

145-4 第 178 回 A 部門編修委員会 御報告

145-4-1 電気学会 A 部門誌 記事提案用紙

145-4-2 電気学会論文誌 A 特集論文会告

145-5 EINA マガジン原稿

145-6 スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会解散報告書

145-6-1 第 13 回 スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会議事録

145-6-2 第 14 回 スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会議事録

145-7 テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会設置趣意書

145-7-1 委員会委員公募掲載様式

145-7-2 理由書

145-8 各技術委員会への A 賞ならびに部門表彰の候補者御推薦のお願い

145-8-1 平成 26 年電気学会 A 部門論文発表賞 A 賞割当数

145-8-2 平成 26 年優秀論文発表賞候補者

145-9 電気専門用語集の見直し可否検討のお願い

議 事

1. 議事録の確認

- ・ p. 2 ↓ 18 「意見交換会での議論内容については、余裕があれば幹事団で簡単にまとめる。」を削除後、承認された。

2. 運営委員会報告

小平幹事補佐 (代理出席) より運営委員会 (11 月 7 日開催分) の報告があった。

- ・ 活動資金について、毎年申請しているものについては、10 万円以下であっても活動資金申請書を提出する。

- ・すでに解散しているが技術報告書を提出していないマグネティックス技術委員会の調査専門委員会について、先ごろ解散した別の調査専門委員会と一緒に解散報告を出すことで了承された。
 - ・調査専門委員会の終了報告について、しばらくの間「A 部門調査専門委員会解散時の成果報告形態に関する覚書」に沿って運用する。
3. 平成 27 年度 計測技術委員会活動計画及び平成 27 年度 計測研究会開催予定
- 作本幹事より資料 145-1 及び資料 145-2 に基づき、平成 27 年度 計測技術委員会活動計画（三次案）及び平成 27 年度 計測研究会開催予定（三次案）について説明があった。
- ・活動計画について、4 月に調査専門委員会の新設を入れた以外は、二次案と同じである。
 - ・計測研究会の担当委員については、二次案と同じである。
 - ・6 月に開催予定の計測研究会について、候補地として金沢、青森、北海道、佐渡あたりでどうかとの意見があった。
 - ・7 月に開催予定の計測研究会について、会場は奈良市内とする。
4. 平成 26 年度 計測技術委員会活動状況
- 作本幹事より資料 145-3 及び資料 145-3-1 から資料 145-5-4 に基づき、平成 26 年度 計測技術委員会活動状況について説明があった。
- ・当技術委員会から平成 27 年全国大会シンポジウムの提案は行わない。
 - ・見学会は 11 月 19 日に産総研九州センターで実施した。
 - ・平成 26 年 1 月から平成 26 年 12 月までの計測研究会について、65 件の発表があった。
 - ・2 月の研究会は、徳島県のホテル千秋閣において 2 月 12 日、13 日の 2 日間で開催する。
 - ・3 月の研究会は、アーク仙台貸会議室（宮城県）において 3 月 6 日に開催する。
- また、仲嶋幹事より資料 145-3-2 及び資料 145-3-2 に基づき、2 月開催予定の計測研究会について補足説明があった。
- ・会場費については、電子情報通信学会 光応用電磁界計測研究会と折半する。
 - ・意見交換会について、今のところ 10 名が参加予定である。
5. 特集論文及び特集記事提案について
- 白井幹事補佐より資料 145-4、資料 145-4-1 及び資料 145-4-2 に基づき、論文誌 A の特集号及び電気学会誌の特集記事提案について説明があった。
- ・論文募集について、計測研究会参加者に電子メールで知らせてあるが、再度アナウンスする。
 - ・特集解説については検討する。
6. EINA マガジンについて
- 福地委員長より資料 145-5 に基づき、EINA マガジンの記事について説明があった。
- ・内容については、A 部門大会のポスターをベースにしている。
 - ・前回の委員会での意見を踏まえ、記事の最後に著者名を入れた。
7. スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会について
- 福地委員長より資料 145-6、資料 145-6-1 及び資料 145-6-2 に基づき、スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会について説明があった。
- ・予定どおり技術報告を作成する。
 - ・解散報告書について、当技術委員会としては承認、3 月 12 日の運営委員会に提出する。

8. 調査専門委員会の設置について

福地委員長より資料 145-7、資料 145-7-1 及び資料 145-7-2 に基づき、テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会について説明があった。

- ・ 2015 年 4 月から 3 年間の予定である。
- ・ 概ね年 4 回の委員会開催を予定している。
- ・ 基礎技術よりも応用技術主体の議論をしたい。
- ・ 設置趣意書について、3 月 12 日の運営委員会に提出する。

9. 平成 26 年電気学会 A 部門論文発表賞の候補者について

小平幹事補佐より資料 145-8、資料 145-8-1 及び資料 145-8-2 に基づき、平成 26 年電気学会 A 部門論文発表賞及び部門表彰の候補者について説明があった。

- ・ 割当数及び候補者は資料のとおりである。資料 145-8-2 のとおり推薦する。

10. 電気専門用語集の見直しについて

福地委員長より資料 145-9 に基づき、電気専門用語集の見直しの要否について説明があった。

- ・ 現在、IEC が改正を行っているところであり、整合性を確保するために当技術委員会の回答としては、「将来に向けて改正意志あり（期日未定）」とする。

11. その他

- ・ IEEE 学生研究発表会の会場費について、ある程度は IEEE から出せる。
- ・ 2014 年度の Student AWARD 候補者の荒牧氏（有明高専）と南氏（佐賀大学）について、IEEE への入会の意思を確認する。
- ・ 計測技術委員会の委員変更届を取りまとめ、3 月中に運営委委員会委員長に提出する。

次回予定

日 時 平成 27 年 4 月 24 日（金）14:30 ～ 17:00

場 所 未定